

フトモモ

か めい
科名 フトモモ

がくめい
学名 Syzygium jambos

べつ めい
別名



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 やくしま おきなわほんとう いりおもてしま いしがきしまとう
屋久島、沖縄本島、西表島、石垣島等で
やせいか
野生化

は かたち
葉 の 形 ちょうだえんけい
長楕円形

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい
葉 の 付方 対生

は きふ えんけい
葉 の 基部 円形

み しゅるい えきか
実 の 種類 液果

はな がくいろ しろいろ りよくはくしよく
花・萼色 白色、緑白色

せつ せい
説 明 けいりゅうそ は たか たつ じょうりよく しょうこうぼく は たいせい ちょうだえんけい
溪流治いなどに生え、高さ 10m にも達する常緑の小高木です。葉は対生し、長楕円形
で葉先は鋭形です。花は白色または緑色を帯びています。実は熟すと黄白色となりバラ
のような匂いがして、味は薄いですが甘くて生で食べることができます。インド原産の果樹とし
て栽培されていたものが野生化したといわれています。